

一般社団法人日本アレルギー学会 平成29年度事業計画
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

事業項目	事業概要
学術大会、講演会等の開催 (定款第4条第1号)	1. 学術大会 第66回学術大会 会期:6月16(金)～18日(日) 会場:東京国際フォーラム(東京) 参加者予定数:4400名 応募演題数:約 620題 2. 第4回総合アレルギー講習会 (座学と実技による総合アレルギー医研修のための講習会) 会期:12月16日(土)～17日(日) 会場:パシフィコ横浜 (横浜) 参加者予定数:1800名
学会誌、ガイドライン、 その他の刊行物の発行 (定款第4条第2号)	和文誌「アレルギー」66 巻1号～66巻10号 年間 9冊発行(4・5号は合併号) 通常号2,3,5,7,8,9,11,12月各1日発行、合併号は 5月15日発行 約12,500部発行予定 J-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載 英文誌「Allergology International」発行66巻2号～67巻1号・年4回(4、7、10、1月、各1日)+Supplement発行。冊子体は希望者の会員のみ配付。 エルゼビアのScience Direct、及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載 「ダニアレルギーにおけるアレルゲン免疫療法の手引き」「スギ花粉症におけるアレルゲン免疫療法の手引き」の改訂
専門医、指導医、教育施設等の認定 (定款第4条第3号)	1. 専門医等の認定 専門医、指導医、認定教育研修施設の資格認定に係わる諸審査を実施 専門医資格認定試験を実施し(平成30年1月最終日曜日)、合格者を「アレルギー専門医」として認定 指導医、認定教育研修施設の認定 2. 専門医等の更新認定 資格更新を希望する専門医、指導医、認定教育研修施設の資格更新に係わる諸審査を行い、合格者を更新認定
研修及び教育の実施 (定款第4条第4号)	専門医の教育 1)第51回セミナー 日時:平成29年 6月18日 13:30～16:45(予定) 場所:東京国際フォーラム (東京) 定員:350名 2)第52回セミナー 日時:平成29年8月20日 9:30～16:00(予定) 会場:JPタワー (東京) 定員:600名 3)専門医制度集中研修(第11回相模原臨床アレルギーセミナー:共催) 日時:平成29年8月4～6日 会場:パシフィコ横浜アネックスホール 定員:250名
研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第4条第5号)	日本アレルギー学会学術大会賞(第14回)の実施 日本アレルギー学会海外研究留学助成金(第4回)の実施 日本アレルギー学会臨床研究支援プログラム(第2回)の実施 日本アレルギー協会真鍋奨学助成、日本医学会医学賞、研究助成、持田記念学術賞、上原賞等の広報、候補者推薦検討
関連学術団体との連絡および協力 (定款第4条第6号)	日本アレルギー協会との共催、後援活動 アレルギー週間の後援及び平成 30 年 2月開催予定の中央講演会を共催 日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本看護協会等との連携・協力 日本専門医機構活動参加 社員総会、内科系関連13学会協議委員会等へ代表者派遣 内科系学会社会保険連合活動参加 例会、呼吸器・検査関連各委員会、アレルギー専門委員会等へ委員派遣 日本医学会・日本医学会連合の活動参加・協力 日本学術会議活動協力 日本医師会活動参加・協力(医師支援事業に参加:支援講習会等を企画・共催の予定) その他関連する団体との連携・協力

一般社団法人日本アレルギー学会 平成29年度事業計画
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

国際的な研究協力と交流の推進 (定款第4条第7号)	1. 第66回学術大会で海外の研究者との交流プログラム(English session)の開催 日時:平成28年6月16～18日の間 会場:東京国際フォーラム 2. WAO(World Allergy Organization), APAAACI(Asia Pacific Association Allergy, Asthma and Clinical Immunology)との国際的活動への参加 3. East Asia Allergy Symposium(EAAS)は第66回学術大会のプログラムとして開催予定。韓国、中国から各4名を招聘予定 4. GINA世界喘息デー 医師講演会(GINA日本組織委員会)への協力
普及啓発活動 (定款第4条第8号)	1. 第66回学術大会において市民公開講座開催 日時:平成29年6月25日(日)(時間未定) 会場:パシフィコ横浜文化ホール小ホール(群馬県前橋市) インターネットライブ配信の実施 2. 学会Web:一般向け情報サイトでの情報提供 他
その他 (定款第4条第9号)	アレルギー相談センター事業
理事会、総会、委員会等	理事会 4回(6、9、12、3月 予定) 社員総会 1回(6月 予定) 総務委員会:平成28年度事業報告書、平成30年度事業計画書案策定 財務委員会:平成28年度決算、平成29年度予算の執行、平成30年度予算案策定 長期展望に立った財務計画、公益法人会計基準に立脚した予算立案、決算作成 長期計画委員会:長期展望に立った学会の課題について検討(学会の将来像、学術大会、専門医制度 他) 広報委員会:広報活動全般、情報システムの管理・検討、学会Webサイト(一般向けサイト含む)の運営、啓発活動の推進(市民公開講座のインターネットライブ配信等)、学術大会動画配信サポート 定款・細則検討委員会:規程に関する諮問検討 推薦委員会:名誉会員、功労会員の推薦、学会推薦の外部学術賞、助成金等の広報、候補者の検討等 倫理委員会:倫理綱領の遵守指導。社会、学会内で生じる倫理的問題、課題への対応、COIに関する検討 学術大会委員会:学術大会プログラムの企画検討、及び関連する諸問題の検討 総合アレルギー講習会実行委員会:総合アレルギー講習会の企画検討、及び関連する課題の検討 アレルギー疾患ガイドライン委員会:「喘息予防・管理ガイドライン2018」及び「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2018」発行に向けての編集 研究推進委員会:臨床研究支援プログラム(第2回)の実施の他、本学会が取り組むべき研究課題の検討 アレルギー・免疫療法委員会:舌下免疫療法の教育・普及、ダニアレルギーによるアレルギー免疫療法の啓発推進 学術賞選考委員会:第14回学術大会賞の選考、第4回海外研究留学助成金の選考 アレルギー編集委員会:和文誌「アレルギー」の発行 投稿原稿審査、編集委員会企画の立案及び実施 J-STAGE、メディカルオンラインでオンラインジャーナル公開 AI編集委員会:英文誌「Allergology International」年4回+Supplement発行。冊子:1100部配布。オンラインジャーナルサイト随時更新。インパクトファクターの数値アップ、認知度アップの為の宣伝活動 専門医制度委員会:アレルギー専門医の認定及び更新認定 専門医養成のための教育施設・指導医認定及び更新認定 専門医教育のためのセミナー立案、実施 今後のアレルギー研修プログラム、研修カリキュラム検討 国際交流委員会:World Allergy Organization(WAO), Asia Pacific Association Allergy, Asthma and Clinical Immunology(APAAACI)との連携、協力事業。East Asia Allergy Symposium(EAAS)は日本で開催。その他関連する国際団体との活動 医療問題検討委員会:日本医療安全調査機構医療事故調査・支援への協力、その他 医療問題、医療保険問題等関連事項の問題検討 日本医療安全調査機構に参加 診療報酬検討専門部会:平成30年4月診療報酬改定に向け、要望の策定。内保連アレルギー関連委員会への委員派遣 アレルギー疾患医療安全委員会:会員の医療事故等医療安全に関し要請を受け、第三者機関として迅速かつ円満な解決を図るための支援活動を行う 男女共同参画委員会:医療体制整備のため医師の勤務環境の改善が急務となっており、アレルギーを専門とする医師全体について、ワークライフバランスを考えた勤務ができるような支援活動を行うことを目的とする。各学会と連携し、情報交換・講演会開催。支援・啓発討論会、メンター&メンティ相談会、学術大会、講習会等における託児支援の実施。男女共同参画奨励賞(第2回)の実施。 Anaphylaxis 対策特別委員会:ファイザーから研究費の助成を受け、「アナフィラキシー治療症例の多施設集積調査」、「アナフィラキシー啓発育成並びに啓発活動」の継続的実施。アナフィラキシーガイドライン普及活動講演、動画の製作、配信。 災害時の対応、支援活動に関するWG:日本アレルギー協会や日本小児アレルギー学会と連携し、今後発生することが予測されている災害への対応、支援活動についての検討を継続。医療スタッフ向けアレルギー疾患対応マニュアルPDF版の公開。